

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月23日）

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00745.html

記事ページ本文

現在位置

トップ

>

会見・報道・お知らせ

>

大臣記者会見等

>

関芳弘 文部科学大臣の会見

> 関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月23日）

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月23日）

令和8年10月23日(金曜日)

教育、その他

キーワード

高校教育改革基金追加第2回申請の採択結果、東京大学総長選考・監察会議等へのプロセス検証依頼の理由と他事例との差異および大学側が圧力と受け止める可能性に関する見解、教員定数改善が教師不足の一因であるとする財政審の指摘への反論および教師不足解消に向けた今後の対応方針、財政審における高等学校教育改革交付金に関する指摘への反論および予算編成に向けた今後の対応方針、文部科学省および所管機関におけるPHP脆弱性の影響と対応状況

関芳弘文部科学大臣記者会見映像版

令和8年10月23日（金曜日）に行われた、関芳弘文部科学大臣の記者会見の映像です。

令和8年10月23日関芳弘文部科学大臣記者会見（※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク）

関芳弘文部科学大臣記者会見テキスト版

後日、アップロードします。

ページの先頭に戻る

お問合せ先

大臣官房政策課広報室

（大臣官房政策課広報室）

ページの先頭に戻る

文部科学省ホームページトップへ

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月23日）

YouTube字幕

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00745.html

YouTubeの日本語字幕

【YouTubeの日本語字幕・公式会見録ではありません】

会見ページ: https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00745.html

字幕本文をそのまま掲載しています。自動生成字幕には誤認識が含まれます。数字・固有名詞は公式会見録と照合してください。

動画: <https://www.youtube.com/watch?v=57H6WPuwKrk>

字幕の種類: YouTube自動生成字幕

取得日時: 2026-10-26T11:28:46.676783+00:00

[00:00:00] はい。え、本日私からは意見でございます

[00:00:03]。1件目、え、高等教育改革促進基、え、

[00:00:08] の追加公募第2回の申請に対する最沢結果

[00:00:12] について報告を申し上げます。え、高合

[00:00:15] 教育改革即死機においては本年9月11日

[00:00:19] を追加公募の第2回申請、え、期源として

[00:00:22] おりました。え、12都道府県から合計

[00:00:26] 31項の申請がございました。外部有識者

[00:00:29] による審査をして23校を採択することと

[00:00:33] いたしました。

[00:00:35] え、今回申請設に対する採択は全て終わり

[00:00:38] ました。え、高校教育改革の先動校とし

[00:00:42] まして47都道府計158校を選びました

[00:00:46]。え、これらは令和9年度外産要求で

[00:00:49] 盛り込んだ高等学校教育改革交付金等の

[00:00:53] 創設も、え、見据

[00:00:56] させるパイロットケースとなるもので

[00:00:59] ございます。

[00:01:00] え、これからの未来を担う高校生の皆さんが夢や希望を持って学ぶことができますように、

[00:01:06] え、文部科学省といたしましても様々な関係者と連携をいたしながら、あ、来年度からの交付金等の創設も含めまして、一層の改革に取り組んでまいりたいと思います。以上でございます。

[00:01:19] ありがとうございます。

[00:01:21] じゃ、まず、えっと、管事者の方から質問させていただきます。

[00:01:24] えっと、東大総朝先行に関して先日文科省が出した依頼についてお伺いします。

[00:01:30] はい。と、

[00:01:31] これまでも国立大学の学長先行を巡っては学内投票で

[00:01:35] 1

[00:01:35] 位の人が学長に選ばれなかったり、その特差が大きかったり、学内外から説明を求める声が上がったりするなど、今回の東大早朝先行と同様の事例は数あったかと思います。

[00:01:46] と学長先行の経緯の検証を求める依頼を出すのは今回初めてということですが、なぜ今回の東大早朝先行に限って依頼を出すに至ったのでしょうかと、他の事例との違いも含めて理由を教えてくださいと、また手続き上は問題がなくても最終的な学長の任命賢権者である文科省側からの検証以来は圧力と受け止められかね。そのことについてどうお考えでしょうか？

[00:02:11] はい。

[00:02:12] え、10月20日にご説明をさせて

[00:02:15] いただいたことに、あの、一部繰り返しに

[00:02:17] なりますけれども、今回あの東京大学の

[00:02:19] 早朝あの先行におきましては学内外、え、

[00:02:23] から多くの疑問が上がっております。え、

[00:02:25] 特に10月13日には学内の教職員有資

[00:02:29] から幹事及び、え、早朝選行観察会に説明

[00:02:33] を求める要望書が提出されました。え、

[00:02:37] 10月16日にはこの要望に対する回答が

[00:02:40] 公表されたものの今なお先行家程や先行に

[00:02:43] ついて明確な説明がなされていないとの声

[00:02:47] も上がっておる次第でございます。こうし

[00:02:49] た状況を踏まえまして、え、文部科学省と

[00:02:52] しては法人の事実的なプロセスを促す観点

[00:02:55] から、え、学長先行含め法人運営に関する

[00:02:59] 監督機能を有する幹事及び分野方針会議に

[00:03:03] 対しまして、え、今回の早朝成功の

[00:03:05] プロセスに関しまして、え、検証を行って

[00:03:08] いただくように、え、依頼をしたもので

[00:03:10] ございます。

[00:03:11] で、あの、客観的な事実をいたしまして、え、

[00:03:15] 2004

[00:03:15] 年の国立大学法人化以降行われました

[00:03:19] 568

[00:03:20] 件の学長先行のうち、え、移行投票の結果とは異なるを行ったのは

[00:03:26] 41件、

[00:03:28] え、でございます。この中で、え、移行

[00:03:31] 投票が2回行われ、2回のいずれにおいて

[00:03:34] も第1位の候補が出た候補の2倍以上の

[00:03:37] 特票を得かつ2回目の移行投票において第

[00:03:41] 1位の候補が下半数を獲得していることと

[00:03:46] いうこの3つの要素を全て有するのは今回

[00:03:50] の東京大学の先行のみでございます、

[00:03:53] より高い説明責任が求められていると考え

[00:03:56] てることでございます。また国立大学法人

[00:04:00] バランス行動においては学長の先行家程や

[00:04:04] 先行理由につきましては、え、人事に

[00:04:06] 関わる審議であることを考慮しつつも学内

[00:04:10] 外のステークホルダーに対する説明責任を

[00:04:12] 果たし、え、依来、え、信頼性、え、透明

[00:04:15] 性を確保する観点からできる限り具体的な

[00:04:19] 内容の公表に務めるべきとの考えが示され

[00:04:23] ております。

[00:04:24] え、今回このような趣旨を目より、え、東京大学の相庁や幹事に対しまして、え、直接時間をかけまして丁寧に趣旨を説明の上要請したところでございます。

[00:04:38] で、今は2名以前に、え、早朝先行監察

[00:04:41] 会議がなぜこのような判断をしたのか説明
[00:04:44] が求められている状況でございます、え
[00:04:47] 、自主性、え、自立性を発揮して、え、
[00:04:51] 大学内部の機能を活用しながら、今回の
[00:04:55] 早朝経の検証を行っていただくことが
[00:04:58] 我改革であると考えております。はい、
[00:05:02] 以上でございます。
[00:05:04] 専力には当たらないという
[00:05:06] はい。え、これはあのわゆる我々文部科学省の所相事務の範囲内で再生いただいていると
判断をいたしております。
[00:05:14] ありがとうございます。
[00:05:15] はい。
[00:05:15] それでは各者さん質問お願いします。えっと質問の際は名と使名を名乗ってお願いします。
[00:05:21] はい。どうぞ。
[00:05:23] 読新聞の上田と申します。
[00:05:24] はい。どうも。
[00:05:25] 昨日開かれました財政制度等審議会の関係でお伺いします。
[00:05:29] はい。
[00:05:30] 財政で文科がこれまで行ってきました教員定数の改善について、
[00:05:35] え、教師不足の大きな議員因となっているという展見解が示されました。え、この見解に
対する大臣のお考えをまずお伺いします。で、また今後教師不足に対してどのように対応していくの
か合わせてお伺いします。
[00:05:49] はい。え、教職員定数の改正につきまして
[00:05:52] は申し上げるまでもありませんが、児童
[00:05:55] 生徒や教師を取り巻く環境が大きく変化
[00:05:58] する中で、え、極め、あ、決め細かな対応
[00:06:02] を行うために不可欠な体制整備として進め
[00:06:05] てきたものでございます。従いまして
[00:06:08] 教員不足の大きな要因が教員定数の改善に
[00:06:11] あるというような主張は当たらないものと
[00:06:15] 考えております。またいわゆる教師不足に
[00:06:18] つきましては、え、学校や教師を取ります
[00:06:21] 環境が引き続き厳しい状況にあります中、
[00:06:24] え、学校教育の質向上に向けまして教師に
[00:06:29] 優れた人材を確保するために教師を
[00:06:32] 取り巻く環境整備に、え、務めております
[00:06:35] が、これをさらに進めまして教職の魅力を
[00:06:38] 向上させることが重要だと認識をいたして
[00:06:40] おります。本部科学省といたしましては、
[00:06:43] ま、既存の取り組みの差がある拡充に加え
[00:06:45] まして、え、教職の魅力向上に向けて抜本
[00:06:49] 的な対策を行っていくことが不可欠と伺え
[00:06:52] ております。令和9年度要求にもそのため
[00:06:56] の内容を盛り込んでいるところでござい
[00:06:57] まして、え、これの教職の魅力を高め、
[00:07:01] 教師に多様な人材を確保できますよう
[00:07:05] 取り組んでます。ありがとうございます。
[00:07:08] はい。あ、はい。どうぞ。
[00:07:11] 経済新聞の三浦と申します。く財政神についての質問です。
[00:07:16] えっと、財務省の資料では現在文科省が自行要求して改革のための新たな金について安定
財源の確保ですとか道府県の取り組み状況、改訂線の効果検証が必要と指しています。
[00:07:20] [笑い]

[00:07:32] 財務省からは少しマッターをかけられているような印象を受けますが、ここ年末の政府予の編成に向けてどのように取り組んでいでしょうか？

[00:07:40] 2040

[00:07:41] 年の将来予測によりましてよりますれば、え、就職、あ、職務と知りません。

[00:07:42] [咳払い]

[00:07:48] え、修業構造の変化や、え、生産年齢人口

[00:07:51] の減少、地方の仮素化等によりまして今後

[00:07:54] 労働力受給ギャップが発生するなど社会

[00:07:57] 問題が発生することが想定されております

[00:08:00] て、統的な統的

[00:08:02] 発展する社会の実現に向けた高校教育改革

[00:08:06] は困ったなしの状況だと思っております。

[00:08:09] え、現在、え、高等学校教育改革交付金等

[00:08:12] の創設例では9年度要求で盛り込んでおり

[00:08:16] ますが、これは都県が策定をいたします。

[00:08:19] 実事計画に位置付けられました取り組みを

[00:08:22] 面でこれ支援をいたしまして、え、基金

[00:08:26] 授業で喪出いたしましたパイロットケース

[00:08:30] 、え、を展開することで高校教育改革の

[00:08:33] 全国的な実を加速するものでございます。

[00:08:36] 2040年までに残されました。時間は

[00:08:38] もう変えられております。あ、これらの

[00:08:41] パイロットケースをいかに早く実現して

[00:08:43] いくか、確実に低下できるか、こういう

[00:08:45] ところが非常に重要で2040年を見据、

[00:08:49] え、人材育成戦略の整費がかかってきて

[00:08:52] いると思います。そのために採択いたし

[00:08:55] ました先道の取り組みとしっかりと分析を

[00:08:58] いたしました上で2040年に向けた我が

[00:09:01] 国全体の成長の最重要課題の1つ交付金等

[00:09:06] の来年創設にまして全力で取り組んで

[00:09:09] いく所存でございます。

[00:09:12] はい。はい

[00:09:14] のです。あのにの性対策について教えて

[00:09:21] くださいと。そして、あの、現在把握して

[00:09:23] いる、え、教育施設、大学などでのあの

[00:09:26] PHP冷弱性に、え、完結するシステム

[00:09:29] 停止や、ま、被害の状況、え、実際に各期

[00:09:32] 区間がこういう恐受けた時の、え、文科省

[00:09:35] の対応方針を教えてくださいと、さらに

[00:09:37] ですね、あの、これから大学入試の

[00:09:39] シリーズを迎える中で、あの、こうした

[00:09:42] 混乱が起けることも想定されますけれども

[00:09:45] 、あの、ウェブ質がだったり合格発表など

[00:09:48] 、あの、大学の受験生に影響を与えない

[00:09:51] ための対策ありがとうございます。

[00:09:54] え、文部科学省におきましては

[00:09:56] 10月21日水曜日にPHP

[00:09:59] 税制への逮、え、省内及び大学等の所管機関に対しまして抽世プログラムの適用に向けましたについての注意関係を行ったところでございます。また少内関システムにつきましては、え、予防的な停止措置や修正プログラムの適用と必要な対応を速やかに交通るところでございます。

[00:10:20] え、所管期間における被害につきましては現時点での報告をにつきましては今受けていない状況でございます。で、後被害機関からあった際には当該期間と近密一に連携しつつ被害の拡大防

止や復旧に向けて必要な助言を行いますと最小限に向け最小化に向けまして適切に対応をしましてまいります。

[00:10:45] え、ご指摘のあの大学入試への影響を含めまして、え、関係機関システムの安全性の確保に安全を引きしてまいります。

[00:10:55] はい、

[00:10:55] 以上でございます。

[00:10:56] あ、はい。はい。はい。

[00:10:58] 他に質問ありますか？

[00:11:02] それではこれで回転終わります。

[00:11:04] はい、ありがとうございました。

[00:11:05] ありがとうございました。